

## 第2表(中)

学校名 清瀬市立清瀬第四中学校

### 2 指導の重点

#### (1) 各教科、道徳科、総合的な学習の時間、特別活動

##### ア 各教科

- ①授業スタイルの定型化を定着させ、授業のねらいを明確にして見通しをもたせ、振り返りを行う授業展開を徹底し、確かな学力の定着を図る。
- ②学び合う姿勢を大切に、体験的・問題解決的な学習を積極的に取り入れ、思考力・判断力・表現力等を高める指導方法の工夫を図り授業改善を推進する。
- ③ICT機器の積極的な活用により、対話的な学習の時間を單元ごとに確保し、多様な意見や考えが出せる課題を設定することにより、言語活動能力の向上を図る。
- ④数学科・英語科では指導方法工夫改善加配教員を活用した少人数授業を行う。さらに数学科では習熟度別少人数授業を行い、英語科ではALTを活用し、基礎的・基本的な知識及び技能の習得を図るとともに、表現力やコミュニケーション能力の向上を図るため、生徒の実態に応じた指導の充実を目指す。
- ⑤保健体育では、救命救急講習会やがん教育の授業を関係機関の協力を得ながら実施し、安全教育・健康教育の充実を図る。また、体力テストの結果を分析し体力の向上を図る。
- ⑥家庭科では栄養士とのチームティーチングにより食育の授業を展開していく。
- ⑦運動会や合唱コンクールなどの学校行事と教科の関連を図った指導計画を作成し、生徒の主体性の向上を図りながら、自分で考え行動する力を身に付けさせる。

##### イ 道徳科

- ①「考え、議論する」道徳の授業を通して、多面的・多角的に考える力を身に付け、人間としての生き方についての考えを深めさせる。
- ②道徳教育推進委員会を中心に、教育活動全体と道徳との関連付けを図りながら「命の教育」を推進し、人間尊重の精神と生命に対する畏敬の念を大切にすることを育てる。

##### ウ 総合的な学習の時間

- ①SDGsを核にして、環境問題をテーマに「知る・広める・深める」を目指した、発達段階に応じた指導計画を立て実践する。体験的・経験的な学習を重視し、自ら進んで探究したり協議したりすることを通して、課題解決能力を育てる。また、プレゼンテーション等を通じて、表現力、発表力を育成する。
- ②インターネットや学校図書館を活用することにより、情報活用能力の伸長を図り、「図書館を使った調べる学習コンクール」への積極的な参加を促進する。

##### エ 特別活動

- ①運動会や合唱コンクール等の学校行事や生徒会活動を通して、生徒一人一人の活躍する場を大切にし、成就感や充実感を味わわせ、集団への所属感を深めさせる。
- ②学校保健委員会の機能を活用し、生徒の活動や外部講師の講演を通して、健康教育を学校及び地域に広げる。
- ③生徒会活動の活性化を図り、落ち葉清掃活動や校庭の芝生定植などを通じて緑を大切にすることを心とボランティアマインドを養う。